

科目 No.	16
授業科目名 (英語表記)	異文化関係論 Cross-cultural relations
授業の実施場所	オンライン授業に自宅等より参加
使用言語	日本語
単位数	2
開講時期	9月20日～1月10日火曜日 3時限 (13:00～14:30)
授業形態	オンライン (オンデマンド (映像・音声を省く課題提示型))
受講者数	無制限
担当教員	作新学院大学人間文化学部 教授 玉城 要
開設大学	作新学院大学
授業の内容	<p>「異文化関係」というと、自分の日常生活とは直接関係のない「どこか遠くの難しい話」と感じるかもしれません。私たちは何らかの人間集団に属して生きています。その集団の構成員には共通した価値観や活動の様式があり、それが「文化」として「モノ」と「ココロ」の両面に現れてきます。また、私たちは集団の構成員としてだけでなく個人としても様々な価値観を持ち、それに基づいて「文化」を生みだしているとも考えられます。広い意味で、私たちは日常的に「異文化関係」の中にあると言ってもいいでしょう。この授業では、異なる文化がどのように関係している (いた、いく) のかを、できるだけ「身近なところから始めて遠くに行きすぎない範囲で」考えます。学生みなさんに「異文化関係」を意識するいろいろなきっかけを提示するつもりなので、あえて統一テーマは設けません。</p> <p>第1回 ガイダンス 「異文化関係」とは「遠くの難しい話」なのだろうか</p> <p>第2回 新渡戸稲造『武士道』とキリスト教</p> <p>第3回 新渡戸稲造『武士道』と儒教・仏教・神道</p> <p>第4回 現代人と「武士道」 武士なき世の武士道</p> <p>第5回 内村鑑三『代表的日本人』その①西郷隆盛と上杉鷹山</p> <p>第6回 内村鑑三『代表的日本人』その②二宮尊徳と中江藤樹</p> <p>第7回 お茶をめぐる文化…陸羽『茶経』と岡倉天心『茶の本』</p> <p>第8回 お茶をめぐる文化…中国・日本・英国・その他</p> <p>第9回 中国の童蒙書『三字経』をめぐる…『本朝三字経』から『西洋三字経』へ</p> <p>第10回 女訓書をめぐる…『列女伝』から『女三字経』、明治近代女子教育と中国の女子教育</p> <p>第11回 渋沢栄一と『論語』…経済学と古典の接点</p> <p>第12回 第12週 湯川秀樹と『老子』『荘子』…先端科学と古典の接点</p>

	<p>第 13 回 沖縄あれこれ…中国から日本へ</p> <p>第 14 回 沖縄あれこれ…日本からアメリカへ、そしてふたたび日本へ</p> <p>第 15 回 沖縄あれこれ…「あの世」との関わり</p>
教科書・参考書・ 教材等	<p>教科書の指定はありません。</p> <p>必要な資料等は、適宜配付します。</p>
成績評価	<p>毎回の授業の課題に基づき評価します。</p>
学修上の助言	